



撓ま ず 屈 せ ず が ん ば ろ う 釜 石 ！

両 石 地 区

発行：平成 25 年 12 月
発行元：釜石市復興推進本部

両石地区地権者会・復興促進協議会・ 復興まちづくり協議会 ニュースレター

両石地区地権者会・復興促進協議会・ 復興まちづくり協議会を開催しました

前回の協議会以降にいただいた要望をもとに見直した土地利用計画（案）や住宅再建意向調査の中間集計結果について説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。土地利用計画の方向性については、参加者の皆様の合意を得られたことから今後、この案をもとに詳細な検討を進めてまいります。

また、両石、箱崎、箱崎白浜地区の復興整備事業を担当する設計や施工事業者が決定しました。12 月中に安全祈願祭を行い、順次、復興事業を進めてまいります。

開催 開催日：平成 25 年 11 月 17 日（日） 時 間：14：00～16：00
概要 場 所：沿岸広域振興局大会議室 参加人数：98 人

釜 石 市 北 ブ ロ ッ ク

復興整備事業は、下記の事業者が担当します。

戸田建設・青紀土木・福山コンサルタント・
三和技術・釜石測量設計共同提案体



前回協議会のふりかえりと最新の土地利用計画について

前回のまちづくり協議会でいただいた要望を反映した土地利用計画の主な変更点は以下の 8 点になります。また、復興公営住宅は意向調査の回収率のアップを図り、整備戸数や区画数などを精査しながら進めていきます。

- ・ 避難路の整備 車両通行が可能なルートを検討を行っており、避難路の接続先は恋の峠を考えていますが、JR の線路を越えるため、今後 JR と協議を行っていきます。
- ・ 生活道路の延伸 JR 線路西側の生活道路は、既存集落の方も利用できるように延伸します。具体的な形状は今後、詳細設計で決めていきます。
- ・ 第 3 地割の宅地化 商業用地として利用を考えていた第 3 地割は、住宅地として整備します。
- ・ 国道 45 号のかさ上げ 市街地側の電波塔付近から交差点に向かって上り勾配、鶺住居側は JR の鉄橋にかけて下り勾配にし、道路の高さと住宅地の高さに差を少なくなるよう設計しています。
- ・ JR 鉄橋西側の盛土 JR 鉄橋西側の土地の宅地利用はできませんが、今後、盛土整備ができるよう JR と協議を行っていきます。
- ・ 防潮堤のかさ上げ 現在の計画である標高 12.0m の高さでの整備となります。
- ・ 監視塔の設置 監視塔の設置は難しいですが、防災無線の運用については担当課にて今後の検討を行っていきます。
- ・ 集合住宅の建設位置 意向調査結果を基に、宅地の区画分けを行っていきます。

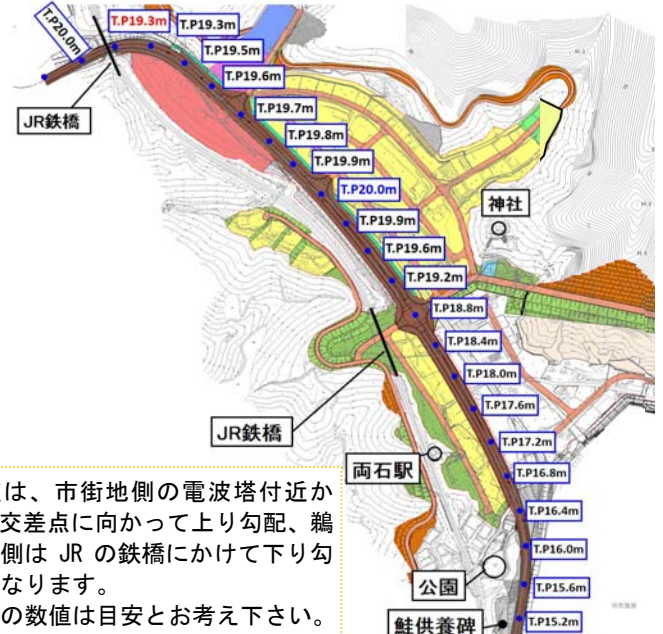


最新の土地利用計画図



【別添資料 10 ページ】

国道かさ上げ概要



- ・ 国道は、市街地側の電波塔付近から、交差点に向かって上り勾配、鶺住居側は JR の鉄橋にかけて下り勾配となります。
- ・ 記載の数値は目安とお考え下さい。

【別添資料 11 ページ】

住宅再建意向調査の中間集計結果について

今回の調査は、昨年度の調査対象とした約 5,000 世帯から、住宅再建済みの世帯を除いた 4,300 世帯を対象に行いました。回収率は約 75% (11 月 17 日現在) です。

回答の全体傾向として、公営住宅より住宅の自力再建を希望する世帯が増えていることが挙げられます。これは 6 月に拡充した住宅再建の補助制度を受けて、自立再建を目指す方が増えてきたものと考えています。

復興公営住宅に関しては、全体的に減少しているものの、東部地区では依然多くの方が入居を希望しています。

今後、更なる回収率のアップを図り、調査の精度を上げ、被災地区ごとに復興公営住宅の整備戸数や高台団地の区画数などを見直してまいります。



このような意見をいただきました

- 両石川は将来どのようなになるか？

➡ 全体的にかさ上げを行うため、宅地内は基本的に暗渠化あんきよ（道路の下に埋設）する予定です。

- 第 3 地割の方へ宅地ができるならば、谷筋の 11 世帯が入る宅地をなるべくなら日当たりの良い場所に移すことを考えられないか。

➡ 住宅再建意向調査の結果を基に宅地の割付けを行った後、公共施設の立地を含めて検討していきます。

- 意向調査で両石に戻らないと書いたが復興の状況を見ながら、やはり戻りたいと思い直した場合は戻れるか。

➡ 最終意向調査ということで実施していますが、調査は計画を立てるための目安として使っているものです。造成が終わり、公営住宅や分譲地の契約に至るまで、色々なことがあると思いますので、一人ひとりの確認を引き続き行っていく必要があると考えています。ぜひ釜石に戻ってきていただきたいと思います。

- 平成 28 年 3 月にはできるとの話であったが、いつ戻れるのか。住宅メーカーの予約状況からは、造成後にもさらに時間がかかる恐れがあり、待ったなしの状態である。いつ帰れるか約束して欲しい。

➡ 平成 26、27 年に造成工事を実施し、平成 28 年度以降に住宅等の整備を予定しています。工事規模が大きいので工事期間を 2 年と設定していますが、短縮できる場所はないか、工程等詰めて工期短縮に努めます。

- 12 月中の着工式をやりたいとのことであったが、目に見えるものが出てくることに期待している。11 月末に意向調査結果を締切りたいとの話だが、もうすぐ 12 月なのにまだ目に見えるものがなく、いくら説明されても不安である。

➡ 下準備をしっかりと進め、早々に詳細設計や用地買収に入れるように進めています。

- 今回の復興まちづくり協議会では、早期実現に向けての取り組み状況が十分に見えない。国土交通省を含めてどのような検討状況にあるのか。また、用地買収交渉に入るといつから時間が経過しているが、その過程における報告がない。

➡ 要望を受けて見直した国道は、市の計画に合わせて線形や高さを変更していただきました。土地利用の確定後、用地交渉を行っていきます。また、国道のかさ上げに伴う工事の施工展開として、仮設道路を北側に造る計画と伺っています。

復興事業については、できる限りみなさまの期待に応えられるよう進めていきたいと思っております。1 日も早く工事を完成させたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部

TEL : 0193-22-2111 (内線 192)
FAX : 0193-22-9505

